

生活保護問題議員研修会（2014.8.22～8.23in 金沢）報告

参加者

塩田・長岡

プログラム

1日目（8月22日）

講演 1「63年ぶり生活保護「改革」を検証する」：稲葉剛氏（もやい理事）

講演 2「生活保護法「改正」に現場でどう対抗するか」：小久保哲郎氏（弁護士・生活保護問題対策全国会議事務局長）

講演 3「世界一幸せな国デンマークの社会保障に学ぶ」：銭本隆行氏（日欧文化交流学院学院長）

生活保護利用者の声を聞く

2日目（8月23日）

第4分科会：一気づき、そして癒されるー生活保護ワークショップ相談編

第5分科会：生活保護の実施体制と地方財政

講演 4「生活困窮者支援法で自治体はどう変わるのか」：熊木正人氏（厚労省・生活困窮者自立支援室長）

まとめ「生存権保障確立のために」：尾藤廣喜氏（弁護士・生活保護問題対策全国会議代表幹事）

講演 1 について

失業し、家賃滞納し、自殺に追い込まれた青年や、生活保護受給世帯の高校生のメールなどこの間の事例を紹介しながら、生活困窮者が生活保護の受給や今後の生活のめどが立つような支援を行政がどう行っていくべきなのかについて講演された。

講演 2 について

「改正」された生活保護法について国会での議論や案から成文化されるまでに行われた修正などを紹介しながら、法の趣旨を現場でどう活かしていくのかについて講演された。

講演 3 について

デンマークに移住されている講師からデンマークの社会保障の内容などが紹介され日本との比較がされた。

分科会 4 について

小グループに分かれ、この間のそれぞれの相談の事例などを紹介しあいながら、解決の方向を探るという実際に参加者同士での討論が行われた。